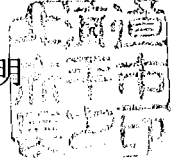


土 管 第 166 号

平成20年10月10日

国土交通省道路局長 様

赤平市長 高尾 弘明



今後の道路行政についての意見・提案の提出について

平成20年9月19日付け、国道企第37号にて提出依頼のありました標記の件について、別紙のとおり回答いたしますのでよろしくお願いいたします。

(建設課管理計画係)

- ・広域分散型の地域社会を形成している北海道の、地方部と札幌市などの6圏域中心都市との地域間格差の改善及び都市集中による交通渋滞等の環境負荷の軽減等のため都市と地方とを結ぶ幹線道路環境の改善。
また、物流効率化等を図るため圏域中心都市間のネットワーク化及び拠点空港港湾と点在する拠点とのアクセス性の向上。
- ・道路網密度の低い北海道では、通行が規制されることによる地域の孤立や大きな迂回が発生する。ライフラインとなる幹線道路の緊急輸送道路としての確実性の強化。
- ・道路重要構造物の老朽化による維持管理・更新費が増大する見込みの中で、経済社会活動に支障をきたすことなく、適切な時期に効率的な補修の実施による延命措置と更新の計画的かつ効率的実施。
- ・地方部において生活に欠かせない自動車等の運転に支障をきたした高齢者でも活力ある生活ができるよう公共交通機関等の充実及び維持管理へ公的資金の投入検討。
- ・積雪寒冷地の冬期間でも安全で安心して移動のできる交通環境改善のため、地吹雪などの冬期交通障害による通行止めへの対策、夏期に比べ著しく低下する冬期速度の改善と定時制の確保。
- ・費用対効果の観点から効果の高いところばかりを優先ではなく、地域間格差解消のためには、地域住民の安全安心から地方部を優先的な整備の検討。
- ・道路の構想から管理までに住民との「対話と協働」、「参加と責任」を取り入れ行政コストの削減。
- ・コスト削減のため、契約方法の改善、新技術の開発、及び活用した計画や工程の見直し。
- ・道路整備及び維持管理に必要となる事業費財源の安定した確保のため、一般財源化にあたっては真に必要な道路整備に対する住民への理解、及び日常の維持管理のコスト削減に対する住民への理解のための説明の徹底。

○現状

道路は人や物の移動など都市活動を支える公共空間として多面的な機能を有している。快適な都市環境のため道路交通網の整備が必要とされている。

住民要望に対する市道の整備にあたって国庫補助等採択とならないため、単独事業(起債含む)での対応となり新たな整備が難しい状況にある。

過去に整備をした市道の老朽化に対応する適切な維持補修が困難な状況にある。

また、冬季の安全確保に適切に対応できる除排雪が難しい状況になってきており、また、住民の高齢化による要望が増加しており対応に苦慮している。

○課題

北海道における高規格幹線道路の整備はネットワーク化が十分ではなく、国道、道道、市町村道も整備が遅れているため地域経済の発展と住民生活に支障をきたしている。計画的な道路整備及び必要な財源の確保

市町村道整備に関する補助等採択基準の緩和
(全体事業費の下限額の引下げ及び生活道路等の整備のため道路構造規格の地域に即した柔軟性のある基準への見直し)

市町村道の維持管理(除雪含む)に国費の投入

②-2 地域の目指すべき将来像

市民の生活行動の円滑化を図り、経済活動の活発化と連動する安全で地域性豊かな道路交通網の整備を国や道と連携を図り促進するとともに、美しい道路空間を創出するため周辺環境との調和をはかり、ひとにやさしい道路環境の向上をつとめる。

広域道路網の整備

都市開発の基盤として重要な役割をもち、道路網の骨格を形成する国道、道道の整備のため、国や道と連携をはかり計画的な整備を促進する。

市内道路網の整備

安全で快適な市内道路機能の向上をはかるため、道路の改良舗装など市道の計画的な整備を進める。

道路環境の整備

人にやさしい道路にするため道路の安全確保に努めるとともに歩行者、特に幼児や高齢者、障がい者などにとって歩きやすいよう段差の解消、歩道の整備などを進める。

今後の道路行政についての意見・提案

③道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

様式 ④

北海道赤平市

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
・環境の保全と豊かな生活環境の創造 ・安全・安心の確保	生活幹線道路ネットワークの形成 地域の幹線道路の整備 地方の自主性・裁量性の確保 防災・減災対策 豪雨対策等の推進 雪国の生活を支える冬期道路ネットワークの確保 安全・安心で計画的な道路管理 道路橋の予防保全の推進	広域分散型の地域社会を形成している北海道の、地域間格差の改善及び都市集中による交通渋滞等の環境負荷の軽減等のため都市と地方とを結ぶ幹線道路環境の改善。 全体事業費の縮減及び生活道路等の地域に即した柔軟性のある対応による整備促進 ライフラインとなる幹線道路の緊急輸送道路としての確実性の強化。 冬期間でも安全で安心して移動のできる交通環境改善のため、地吹雪などの冬期交通障害による通行止めへの対策、夏期に比べ著しく低下する冬期速度の改善と定時制の確保。 道路重要構造物の老朽化による維持管理・更新費が増大する見込みの中で、適切な時期に効率的な補修の実施による延命措置と更新の計画的かつ効率的実施による安全確保と経済性。	